

御得意様名 <u>日南市学校給食センター</u> 様		機種 <u>CM-150SDM</u>					
住所 <u>広島県日南市宮内工業団地内1-63</u>		機番 No. <u>J P 8 8 9 6 0 7 1 8</u> / 号機					
保守契約区分 [AMP 7A] <u>SP</u> その他()		試運転日 西暦 <u>2005</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日 点検記号[<u>9</u>]					
管理地点名 <u>日南市 M</u> コード <u>54346</u>		担当者氏名 <u> </u> コード <u>62445</u>					
計測日 西暦 <u>2005</u> 年 <u>8</u> 月 <u>22</u> 日 時間 <u>(金曜日)</u> <u>9時00分 ~ 17時00分</u>		売上No. <u> </u> 請求先 <u> </u> 様 請求先コード <u> </u>					
		支払条件 <u> </u> 月 <u> </u> 日締め <u> </u> 月 <u> </u> 日支払 現金 / 手形(<u> </u> 日) / 廻し手形(<u> </u> 日) / 振込 / 小切手 / その他(<u> </u>) 集金(有・無)					
No.	品名規格	コード No.	ロット No.	元原価区分	枚数	金額	
1.	点検料金			421	1		
2.	交換作業料			421	1		
3.	諸経費			421	1		
4.	ドアパッキン	F009-710-1830-0		411	1		
5.	エアフィルタ	0000-AL9-3772-0		411	1		
6.	コブレイブフロッギング	0000-AL7-0690-0		411	1		
7.							
8.							
				小計			
				消費税等			
				合計			
<p>※計測時間は18時30分~17時30分(外及び天候・設備の不具合等により変更)。</p> <p>(お客様の依頼事項)</p> <p>○計測は、所要項目です。計測項目は、(機種により異なる)項目があります。また、お客様の使用状況に応じて変更のあることをご了承ください。</p> <p>① 装置内部、ドア内部の清掃は、<u>8</u> 時間以内に行ってください。換気、取外し可能な部品については、取外しして洗浄を行ってください。</p> <p>② 自動ドアの清掃は、<u>6</u> ヶ月以内に行ってください。</p> <p>③ 自動ドアの清掃は、定期的に交換が必要です。定期的に弊社の点検をお願いいたします。</p> <p>④ 自動ドア、CT 制御ポンプ、クーリングタワーが故障のおそれがある場合は、各取扱説明書に従って水抜き等の処置を行ってください。</p> <p>⑤ チラーが凍結のおそれがある場合は、外気温を感知して自動で解凍ポンプが稼働停止し、運転を行います。停止時もチラーのノズルは、見えないでください。(取扱説明書を参照ください)</p> <p>⑥ 装置周辺の整理整頓を行ってください。</p>							
<p>作業前確認事項 チラー：メーカー (<u> </u>) 型式 (<u> </u>) 馬力 (<u> </u>) 被圧物 (<u> </u>) 凍結数 (<u> </u> 回/日) チラーの状態 (<u> </u>)</p> <p>① 食材への使用前に、品質センサに異常 (故障、欠損) がないことを確認してください。異常があった場合は、装置内部に食材が混入している可能性があります。ただちに使用を停止してください。また、食材への混入がないことを確認してください。品質センサに異常 (故障、欠損) により、食材への混入のおそれがあります。そのまま使用すると品質の低下、欠損により、食材への混入のおそれがあります。</p> <p>② 装置の取り扱いに不慣れな場合は、取扱説明書をご参照のうえ、正しくご使用ください。</p> <p>③ 装置は、取扱説明書に従って正しくご使用ください。</p> <p>④ 異常発生時にアラームが発生した場合は、取扱説明書に従ってリセットを行ってください。リセットを行ってもアラームが解除できない場合は、アラーム名を覚えて、弊社営業所までご連絡ください。</p> <p>⑤ 使用期間、修理等について不明の場合は、弊社にお申し合わせください。</p> <p>⑥ 何か不明な点がございましたら、弊社にお申し合わせください。</p> <p>【安全に関する注意事項】</p> <p>① 装置内部は高温になります。危険性を十分理解した方が使用してください。</p> <p>② ドアを開閉する際は正しい方法で行ってください。内部に入るとドアが閉まる場合、ドアが空回りにならないよう注意 (外レールやアストッパ) を行ってください。</p> <p>③ ドアの手動操作方法を正しく理解し、1人1台は管理してください。必要に応じて使用できるように保管してください。</p> <p>④ 危険性、安全性能、各種方法を十分理解し、使用者への指導を行ってください。</p>							
<p>真空冷却機点検実施</p> <p>上記部品交換実施しました。</p> <p>整備後運転確認実施 異常ありませんでした。</p>							
<p>産業廃棄物の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 廃プラスチック類 <input checked="" type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> ガラス・コンクリート・陶磁器くず <input type="checkbox"/> その他 () 数量: 一式</p> <p>作業後確認事項 各種バルブの開・閉 (実施・未実施) 運転電源SW (ON・OFF) メンテナンスモードの確認 (ON・OFF) メンテナンス用弁 (開・閉) 設定変更の復旧 (実施・未実施) その他 ()</p> <p>使用計測器管理 No. 温度計: <u>54346-18</u> 真空計: <u>54346-22</u> MFC 計測器: <u> </u></p> <p>次回点検予定日 西暦 <u>2006</u> 年 <u>8</u> 月です。 ※なお、<u> </u> 年 <u> </u> 月 <u> </u> 日に保守契約が満了となりますので、契約更新をよろしくお願い申し上げます。</p>							
No.				お客様ご確認立ち会い (有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>)			
検印	検印	承認	インプット印	点検人力印	ご確認		
					ご承認日 <u>2005</u> 年 <u>8</u> 月 <u>22</u> 日		
					ご承認 <u> </u>		

判定: ○=正常 △=処理済 ×=未処理 /==該当なし

【本体機能】		測定値・判定	
原水圧力	0.25 MPa	0	
給液圧力	0.32 MPa	0	
スチームトラップの動作	0		
封水温度/全循環のみ 切替前	23.5 °C	0	
封水温度/全循環のみ 切替後	12.0 °C	0	
真空リーク測定(計測器の単位 hPa, kPa によって使い分けてください。)			
*基準値 2.7hPa/5 分以下または、0.6kPa/11 分以下			
リーク測定 1 回目 測定値 hPa/5 分	hPa		
リーク測定 1 回目 測定値 kPa/11 分	0.5 kPa		
リーク測定 1 回目 測定値判定	○		
リーク測定 補修後 測定値 hPa/5 分	hPa		
リーク測定 補修後 測定値 kPa/11 分	kPa		
リーク測定 補修後 測定値判定			
調整用/校対用	表温度	基準温度	補正値
校正前			
校正後			
品温校正(°C)	品温	品温差	補正値
校正前	8.0	7.6	0.0
校正後			
<真空ポンプ>			
能力 ~400hPa	67 秒		
電流値	6.60 A		
サーマル値	10.3 A		
<フィルタ>			
汚れ状況	△		
真空復帰時間	52 秒		
【運転確認】		測定値	
<冷却確認>			
冷却物	水		
試験重量	1.0 kg		
初期温度	37.0 °C		
冷却設定温度	8.0 °C		
終了温度	8.0 °C		
今回の冷却時間	7 分 54 秒		
【洗浄確認】			
洗浄指導(MPのみ) 立会い者	線		

判定: ○=正常 △=処理済 ×=未処理 / =該当なし

【お知らせ履歴】				バックシン川原ポンプ池施設(両方のみ)		A	
				バックシン川原ポンプサーマル値(両方のみ)		A	
1	F586	障害物検知	7/5 12:09	○	【本体】	測定値・判定	
2	C563	ドアセッサー不	6/4 13:04	○	冷却槽内面傷・亀裂	○	
3	F864	ドア1 リミットスイッチ不	6/4 10:37	○	冷却槽内付属品の状況	○	
4	A564	ドア1 異常	6/4 10:37	○	本体アソカの異常	○	
5					ドア1 外レールスロープの状況	○	
【日付・時刻】				判定	ドア2 外レールスロープの状況		
時刻合わせ(マイコン・正確)				△	ケーシングの状態(傷、歪みなど)	○	
【分解掃除】				判定	弁廻り漏れの有無	○	
給水ストレーナ(屋外ユニット含む)				△	ドア裏洗浄実施		
給電ストレーナ				△	洗浄ガン動作確認		
熱交換器(冷却水・CMのみの)※年1回					熱交換器動作確認	○	
吸気ストレーナ				○	P 加圧弁動作、P 減圧弁動作確認	○	
【ドア部】				測定値・判定	ボールタップ動作確認	○	
				ドア1	ドア2	冷水タンク水の汚れ	
バックシンと槽の清掃				△		水の人替	
チェーンの潤滑				△		配管の水漏れ	
チェーン押さえ状態確認				○		配管の水漏れ 場所	
チェーン及び取付ボルト状況				○		漏水の確認方法	
ドアレール右の状況				○		漏水の検出	
ドアレール左の状況				○		品温センサの状態	
除菌剤感知リード線接続確認				○		<マイコン設定値確認>	
除菌剤感知リード線の引掛り確認				○		ドア1 駆動回数	5845 回
除菌剤感知の動作確認				○		ドア2 駆動回数	回
緑板アングル・注視確認				○		ROM バージョン	FA1-200
ドア全閉位置感知LSの動作確認				○		プログラム	冷却温度
ドア全開位置感知LSの動作確認				○		1	8 °C
ドアオーバーラン感知LSの動作確認				○		2	18 °C
LSレバーとドア位置確認				○		3	10 °C
緑板右の変形/取付のゆるみ確認				○		4	25 °C
緑板左の変形/取付のゆるみ確認				○			
駆動モータのブレーキ動作確認				○		【チラー】	
駆動モータのずり確認				○		測定値・判定	
ドアガイドローラ変形・割れの確認				○		水流れ	
上昇電流値				2.10 A	A	水流れ 場所	
				○		振動・異音	
下降電流値				1.69 A	A	振動・異音 場所	
				○		外観異常	
サーマル値				2.90 A	A	外観異常 場所	
				○		循環ポンプ型式	
ドア開閉動作				○		循環ポンプ吐出圧	
バックシン出代寸法 右				0.0 mm	mm	0.4 MPa	
バックシン出代寸法 左				0.5 mm	mm	7.23 A	
バックシン動作確認				○		循環ポンプサーマル値	
ドアシール板				○		11.5 A	
ドアストップ上				○		冷水温度警報の設定(屋外タンクユニット)	
ドアストップ下(ゴム)				○		°C	
ドアスクレイパの確認						冷却器フィン汚れ	
バックシン吐出圧力				0.18 MPa	MPa	冷水の冷却確認	
バックシン引込圧力				-0.02 MPa	MPa	○	
バックシンリリース戻り圧力				0.20 MPa			

御得意様名 <u>廿日市 学校給食センター</u> 様		機種 <u>CM-150SDM</u>			
住所 <u>広島県廿日市市宮内環地内 1-63</u>		機番 No. <u>J P 8 8 9 6 0 7 7 9</u> 号機 <u>2</u>			
保守契約区分 (ZMP ZM <u>SP</u> その他()) 試運転日 西暦 <u>2005</u> 年 <u>3</u> 月 <u>3</u> 日 点検記号[<u>0</u>]					
管理拠点名 <u>771 広島 M</u>		コード <u>54346</u>	担当者氏名 <u> </u> コード <u>62445</u>		
出向日 西暦 <u>2005</u> 年 <u>8</u> 月 <u>22</u> 日		売上 No. <u> </u>			
時間 (金曜日) <u>9 時 00 分 ~ 17 時 00 分</u>		請求先 <u> </u> 様			
		請求先コード <u> </u>			
支払条件 <u> </u> 月 <u> </u> 日締め <u> </u> 月 <u> </u> 日支払		現金 / 手形(<u> </u> 日) / 廻し手形(<u> </u> 日) / 振込 / 小切手 / その他(<u> </u>)			
		集金(有・無) <u> </u>			
No.	品名規格	コード No.	ロット No.	定価(原価込) 数量	金額
1.	点検料金			421 1	
2.	トアパッキン	F009-710-1830-0		411 1	
3.	エアフィルタ	0000-AL9-3772-0		411 1	
4.	コンプレッションフィッティング	0000-AL7-0690-0		411 1	
5.					
6.					
7.					
8.					
※分解物等時間(8時30分~17時30分)外及び本体の基本料金、技術料等は別添となります。 (お客様への依頼事項) ○印は、重要項目ですので必ずご確認ください。(機体により該当しない項目があります。また、お客様の使用状況に応じて変更のあることをご確認ください。)				小 計	
① 装置室内、ドア内面の掃除は <u>8</u> 日間毎に確認を行ってください。室内の、取外し可能な部品については、取外して洗浄を行ってください。				消費税等	
② 自動ドアの潤滑は <u>6</u> か月毎に行ってください。				合 計	
③ 自動ドアの駆動部は、定期的に点検が必要です。定期的に弊社の点検をお願いします。					
④ 自動ドア、CT 制御ポンプ、クーリングタワーが凍結のおそれがある場合は、各取扱説明書に従って水抜き等の処置を行ってください。					
チラーが凍結のおそれがある場合は、外気温を監視して自動で循環ポンプが凍結防止運転を行います。停止中もチラーのブローカは、回らないでください。(取扱説明書参照ください。)					
装置付近の空気循環を行ってください。					
作業確認事項 チラー:メーカー(9411) 型式(UWA711A)馬力数(-)被造物(-)冷凍数(- 回)チラーの状態(良好)					
① 食材への使用前に、品温センサー異常(故障、欠損)がないことを確認してください。異常があった場合は、調理室内に破片が混入しているおそれがあります。ただちに使用を停止してください。また、食材への混入がないか確認してください。品温センサー内部の腐蝕、曲がり、電線が破断された場合は、ただちに使用を停止し、新しいものに交換してください。					
② そのまま使用するとセンサー部品の破損、欠損により、食材へ混入するおそれがあります。					
③ 装置の取り扱いで不明な場合は、取扱説明書をご参照のうえ、正しくご使用ください。					
④ 装置は、取扱説明書に従って点検を行ってください。					
⑤ 故障発生時にはアラームが発生した場合は、取扱説明書に従ってリセットを行ってください。リセットを行ってもアラームが止まらない場合は、アラーム名を覚えて、弊社までご連絡ください。					
⑥ 保証期間、修理等についてご不明の場合は、弊社までお問い合わせください。					
⑦ 何か不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせください。					
【安全に関する注意事項】					
① 装置は危険な場合があります。危険性を十分理解した方が使用してください。					
② ドアを開閉する正しい方法で行ってください。室内に入るとドアを閉める場合、ドアが閉鎖とならないよう注意(外レールやドアストッパ)を行ってください。					
③ ドアの移動方法を正しく理解し、正しく管理してください。必要が来たら使用できるように保管してください。					
④ 危険性、安全警告、各種注意を十分理解し、使用者への安全教育を行ってください。					
真空冷却機点検実施 上記部品交換実施はした。 整備後運転確認実施。異常ありませんでした。					
産業廃棄物の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 廃プラスチック類 <input checked="" type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> ガラス・コンクリート・陶磁器くず <input type="checkbox"/> その他() 数量: 一式					
作業後確認事項 各種バルブの開閉(実施・未実施) 運転(電源)SW (ON・OFF) メンテナンスモードの確認 (ON・OFF) メンテナンス用弁 (開・閉) 設定変更の復旧(実施・未実施) その他()					
使用計測器管理 No. <u> </u>		温度計: <u>54346-18</u>	真空計: <u>54346-22</u>	VIF 計測器: <u> </u>	
次回点検予定月 西暦 <u>2006</u> 年 <u>8</u> 月です。		※なお、 <u> </u> 年 <u> </u> 月 <u> </u> 日に保守契約が満了となりますので、契約更新をよろしくお願い申し上げます。			
No.					お客様ご確認立ち会い (有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>)
検 印	検 印	承 認	インプット印	点検入力印	ご確認 ①
					ご承認日 <u>2005</u> 年 <u>8</u> 月 <u>22</u> 日
					ご承認 ②

判定：○=正常 △=处理済 ×=未处理 / =該当なし

判定：○=正常 △=処理済 ×=未処理 / =該当なし

【お知らせ履歴】

	警報コード	お知らせ内容	発生日時	判定
1	F586	障害物検知 1	7/9 10:29	○
2				
3				
4				
5				

バックシン川底ポンプ電流値(両側のみ)

バックシン川底ポンプサーマル値(両側のみ)

【本体】

測定値・判定

	冷却槽内故障・亀裂	○
	冷却槽内付属品の状況	○
	本体アソカの異常	○
	ドア1 外レールスロープの状況	○
	ドア2 外レールスロープの状況	
	ケーシングの状態(傷、歪みなど)	○
	弁越し漏れの有無	○
	ドア異状確認	
	洗浄ガン動作確認	
熱交換器全流量確認(CMPのみ)※年1回	蒸気エゼクタ動作状況	○
吸気ストレーナ	P 加圧装置、P 減圧弁動作状況	○

【ドア部】

測定値・判定

	ドア1	ドア2	冷水タンク水の汚れ	○			
バックシンと溝の清掃	△		水の入替	○			
チェーンの潤滑	△		配管の水漏れ	○			
チェーン押さえ装置状況	○		配管の水漏れ 場所				
チェーン及び取付ボルト状況	○		漏水の確認方法	(目視・サウンドスコープ)			
ドアレール右の状況	○		漏水の確認	○			
ドアレール左の状況	○		品温センサの状態	○			
除霜センサーリード線固定確認	○		<マイコン設定値確認>				
除霜センサーリード線の引掛り確認	○		ドア1 扉体回転	6104 回			
除霜センサー動作確認	○		ドア2 扉体回転	回			
緑板アングル寸法確認	○		ROM バージョン				
ドア全閉位置感知LSの動作確認	○		プログラム	冷却温度	徐冷	徐正	タイマ設定
ドア全閉位置感知LSの動作確認	○		1	8 °C	なし	なし	20 分
ドアオーバーラン感知LSの動作確認	○		2	18 °C	なし	なし	20 分
LSレバーとドア開閉位置確認	○		3	10 °C	2	2	10 分
緑板右の変形/取付のゆるみ確認	○		4	25 °C	1	1	30 分
緑板左の変形/取付のゆるみ確認	○		【チラー】				
扉体モータのブレーキ動作確認	○		測定値・判定				
扉体軸のずれ確認	○		水漏れ				
ドアガイドローラ変形/ずれの確認	○		水漏れ 場所				
上昇電流値	1.82 A	A	振動・異音				
	○		振動・異音 場所				
下降電流値	1.50 A	A	外観異常				
	○		外観異常 場所				
サーマル値	2.90 A	A	循環ポンプ型式				
	○		循環ポンプ吐出圧				
ドア開閉動作	○		循環ポンプ流量値				
バックシン出代寸法 右	-0.5 mm	mm	循環ポンプサーマル値				
バックシン出代寸法 左	0.0 mm	mm	冷水温度警報の設定(屋外タンクユニット)				
バックシン動作確認	○		循環ポンプフィンの汚れ				
ドアシール板	○		冷水の冷点確認				
ドアストップ上	○						
ドアストップ下(ゴム)	○						
ドアスクレイパの確認							
バックシン押圧力	0.17 MPa	MPa					
バックシン引き力	-0.04 MPa	MPa					
バックシンリリーフ弁設定力	0.20 MPa						

判定: ○=正常 △=処理済 ×=未処理 /=該当なし

【本体確認】		測定値・判定	
原水圧力	0.22 MPa	0	
給湯圧力	0.34 MPa	0	
スチームトラップの動作	○		
封水温度/全給湯のみ 切替前	23.5 °C	0	
封水温度/全給湯のみ 切替後	12.0 °C	0	
真空リーク測定(計測器の単位hPa、kPaによって使い分けてください。)			
*基準値 2.7hPa/5分以下または、0.6kPa/11分以下			
リーク測定 1回目 測定値hPa/5分	hPa		
リーク測定 1回目 測定値kPa/11分	0.4	kPa	
リーク測定 1回目 測定値判定	○		
リーク測定 補修後 測定値hPa/5分	hPa		
リーク測定 補修後 測定値kPa/11分	kPa		
リーク測定 補修後 測定値判定			
調整前/校正前	表示値	基準値	補正値
校正前			
校正後			
品温校正(°C)	表示値	基準値	補正値
校正前	9.0	8.7	-0.3
校正後			
<真空ポンプ>			
能力 ~400hPa	67	秒	
電流値	6.62	A	
サーマル値	10.3	A	
<フィルタ>			
汚れ状況	△		
真空解除時間	52	秒	
【運転確認】		測定値	
<冷却確認>			
冷却物	水		
試験重量	1.0	kg	
初期温度	39.0	°C	
冷却開始温度	8.0	°C	
終了温度	8.0	°C	
今回の冷却時間	6分	4秒	
【洗浄確認】			
洗浄指導(ZMPのみ) 立会い者	課		